

経営比較分析表（令和6年度決算）

滋賀県 大津市

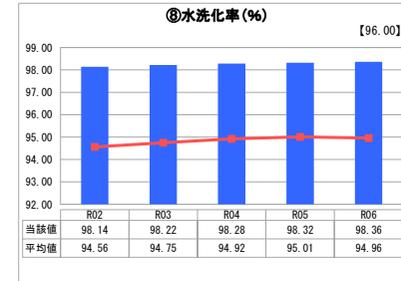
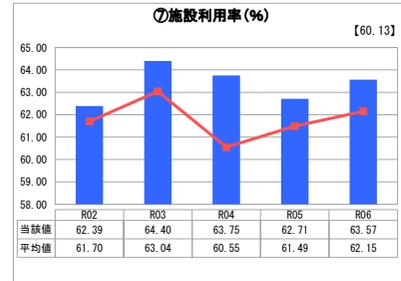
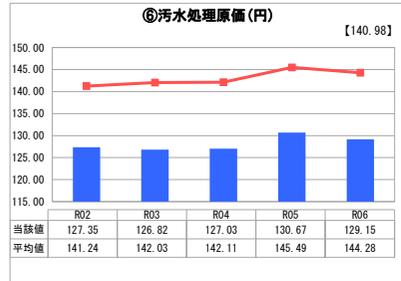
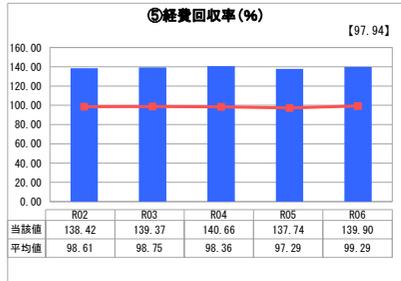
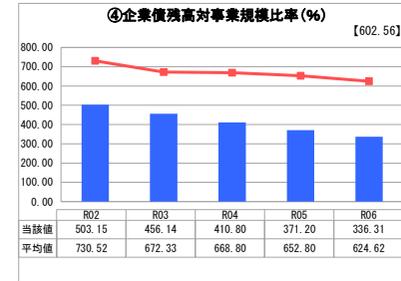
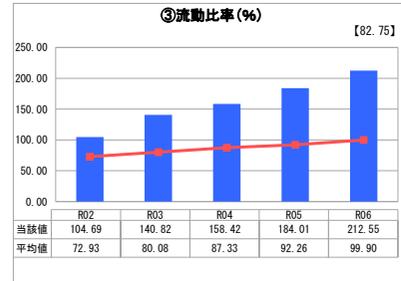
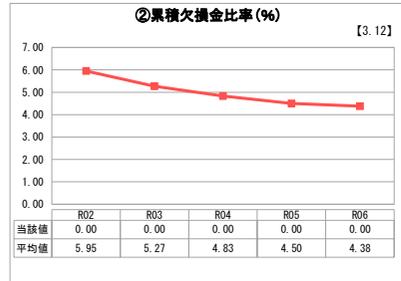
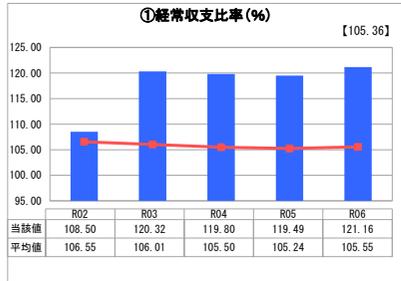
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.38	97.04	81.62	2,931

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
343,600	464.51	739.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
332,797	55.53	5,993.10

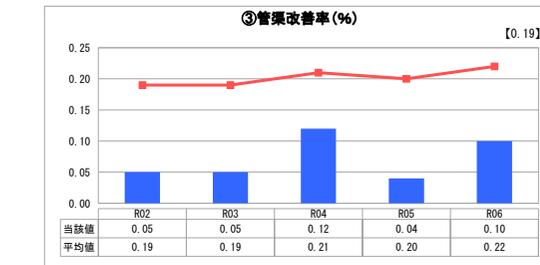
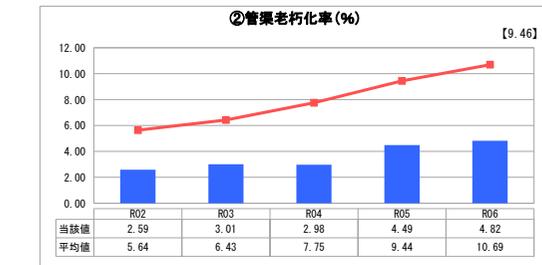
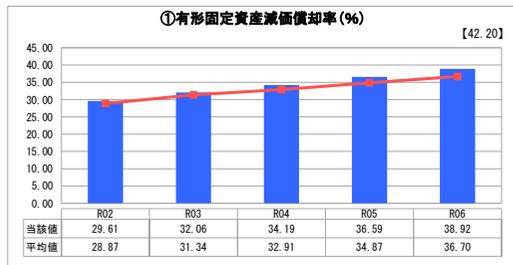
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、③ 流動比率及び⑤ 経費回収率は、100%以上が良い状態である指標で、全国平均及び類似団体平均を上回っています。ただし、一般会計からの繰入金の影響により大きく増減しうることから、注意が必要と考えています。

④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の規模を表す指標で、低い方が良い状態です。全国平均及び類似団体平均を下回っており、さらに企業債の発行抑制等により減少傾向にあり、改善が見られます。

⑥ 汚水処理原価は、有収水量1m³あたりの費用を表す指標で、低い方が良い状態です。全国平均及び類似団体平均と比べて低い水準を維持しています。

⑦ 施設利用率は、高い方が施設の利用状況や規模が良い状態である指標です。全国平均及び類似団体平均を上回っており、今後も適正規模の維持を図っていきます。

⑧ 水洗化率は、処理区域内人口のうち汚水処理をしている人口の割合を表す指標です。おおむね横ばいであり、全国平均及び類似団体平均を上回っています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、② 管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標です。それぞれが、資産・管渠の老朽化度を示しています。① 有形固定資産減価償却率は全国平均を、② 管渠老朽化率は全国平均及び類似団体平均をそれぞれ下回っていますが、ともに増加傾向にあり、老朽化が進行していることがわかります。

③ 管渠改善率は、管渠延長のうち当該年度に更新した管渠延長の割合を表す指標です。全国平均及び類似団体平均を下回っています。

全体総括

経常収支比率・経費回収率は100%を超えていることに加え、企業債残高対事業規模比率は減少していることから、経営の健全度は良好な状態を維持できているといえます。

また、既に高水準である水洗化率が年々向上していることから、地道な普及促進活動の成果が表れているといえます。

一方、今後は水需要の減少に伴う有収水量の減少や、処理場の改築更新等による大規模な建設投資が見込まれていることから、経営状況を注視していく必要があります。

引き続き、「大津市下水道事業中長期経営計画(経営戦略)」に基づき、お客様に安全で安定した下水道サービスを提供できるよう、持続可能な経営を実施していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。